

---

---

**第9次ひたちなか市行財政改革大綱  
令和4年度実績報告書**

---

---

**【重点事項別】**

令和5年8月

**ひたちなか市行政改革推進本部**

## 目 次

1	第9次ひたちなか市行財政改革大綱	
	令和4年度実績報告の概要	1
	(1) 令和4年度実績報告	1
2	重点事項別改革課題一覧	4
3	部会別改革課題一覧	6
4	重点事項別実績報告	
	重点事項1 将来に向けた行政サービスの再構築	8
	重点事項2 時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進	19
	重点事項3 安全で住みやすい都市基盤の強化	29
	重点事項4 自律的で持続可能な財政基盤と効率的な行政運営の確立	38

# 1 第9次ひたちなか市行財政改革大綱 令和4年度実績報告の概要

本市では、令和2年度から令和4年度までの3ヵ年を推進期間とする、第9次ひたちなか市行財政改革大綱を策定し、「将来に向けた行政サービスの再構築」、「時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進」、「安全で住みやすい都市基盤の強化」、「自立的で持続可能な財政基盤と効率的な行政運営の確立」の4つの重点事項を掲げ、行財政改革を推進している。

## (1) 令和4年度実績報告

### ① 達成状況

重点事項	項目数	令和4年度計画の達成状況		
		A	B	C
将来に向けた行政サービスの再構築	9	5	4	0
時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進	9	2	7	0
安全で住みやすい都市基盤の強化	8	4	4	0
自立的で持続可能な財政基盤と効率的な行政運営の確立	9	7	2	0
合 計	35	18	17	0

※令和4年度実施計画の達成状況欄は、進捗の度合いに応じて次のように区分する。

区 分	基 準
A	● 計画に沿って事業を実施できた。
B	● 当該年度中には事業が完了しなかったが、間もなく完了する。 ● 概ね計画どおりに事業を実施できたが、一部実施できていないものがある。
C	● 実施しなかった。 ● 計画の大部分を実施できなかった。

## ② 第9次行財政改革大綱に掲げる取組みを完了した課題

### ● 【完了】既存事業の見直しによる新規事業の財源確保（総務部会）

厳しい財政状況下において、将来にわたって必要な行政サービスを提供し続けることのできる持続可能な行財政運営への転換を図るための取組みとして、令和2年度から令和4年度まで「サマーレビュー」を実施した。

3年間の取組み期間の中で計66件の事業について見直しを行い、令和3年度から令和5年度の当初予算において、約10億8千万円の財政効果をあげることができた。

### ● 【完了】災害時の物資備蓄拠点整備（市民生活部会）

備蓄品の保管や支援物資の受入れ・配送の拠点となる防災拠点倉庫を整備し、令和4年2月から運用を開始した。

### ● 【完了】体験学習事業の再構築（教育委員会部会）

公平かつ効果的・効率的な体験学習のあり方を検討し、体験学習事業全般の見直しを行った。

洋上学習事業・自然体験キャンプ事業を廃止し、新規事業として国営ひたち海浜公園内での体験学習事業を開催した。

③ 取組みを完了していない課題のうち、事業執行方針や実施手法が確立したもの

- 公共交通体系の確立（ひたちなか海浜鉄道支援）（企画部会）
- 公共交通体系の確立（コミュニティ交通の充実）（企画部会）
- 市職員へのマーケティング思考の定着（企画部会）
- 公用車集中管理の推進と次世代自動車の導入推進（総務部会）
- 空き家の有効活用の促進（市民生活部会）
- 審議会等委員への女性委員の登用（市民生活部会）
- 避難行動要支援者支援制度の支援体制の構築（市民生活部会）
- 空き家の発生抑制（市民生活部会）
- 小地域ネットワーク事業の推進（保健福祉部会）
- 子ども子育て支援の推進（子ども部会）
- 保育士の確保（子ども部会）
- ごみ減量化事業の推進（経済環境部会）
- 海岸の通年利用の促進（経済環境部会）
- 中丸川流域における浸水被害軽減プランの推進（建設部会）
- 公園空白地区への街区公園整備（都市整備部会）
- 災害時の応急給水体制の強化（水道部会）
- 耐震性の高い配水管への更新（水道部会）
- コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進（教育委員会部会）

## 2 重点事項別改革課題一覧

(※No. の欄中 A で始まるものは、計画期間途中の追加改革課題)

No.	改革課題名称	担当課
<b>(1) 将来に向けた行政サービスの再構築</b>		
1	公共交通体系の確立 (ひたちなか海浜鉄道支援)	企画調整課
2	公共交通体系の確立 (コミュニティ交通の充実)	企画調整課
3	子ども子育て支援の推進	子ども政策課
4	計画的な保育所の整備	幼児保育課
5	保育士の確保	幼児保育課
6	ごみ減量化事業の推進	廃棄物対策課
7	公立幼稚園再編拠点化の推進	教委総務課
8	小・中学校の規模及び配置の適正化(R 2 完了)	教育委員会
9	新中央図書館整備による機能向上(R 2 再検討要するため削除)	中央図書館
10	放課後学童クラブ運営の充実	青少年課
A-1	体験学習事業の再構築 (R 2 追加)	青少年課
<b>(2) 時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進</b>		
11	まちづくり市民会議への支援	市民活動課
12	持続可能な自治会活動の支援	市民活動課
13	空き家の有効活用の促進	市民活動課
14	審議会等委員への女性委員の登用	女性生活課
15	避難行動要支援者支援制度の支援体制の構築	生活安全課
16	小地域ネットワーク事業の推進	高齢福祉課
17	耕作放棄地の抑制	農政課
18	海岸の通年利用の促進	観光振興課
A-2	コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進(R 3 追加)	青少年課
<b>(3) 安全で住みやすい都市基盤の強化</b>		
19	災害時の物資備蓄拠点整備	生活安全課
20	空き家の発生抑制	市民活動課
21	中丸川流域における浸水被害軽減プランの推進	河川課
22	下水道事業経営の健全化	下水道課
23	都市計画道路網の再構築(R 3 完了)	都市計画課
24	公園空白地区への街区公園整備	公園緑地課
25	土地区画整理事業の推進 (都市計画道路の重点整備)	区画整理事業所
26	災害時の応急給水体制の強化	水道事業所
27	耐震性の高い配水管への更新	工務課

No.	改革課題名称	担当課
<b>(4) 自立的で持続可能な財政基盤と効率的な行政運営の確立</b>		
28	ひたちなか地区への企業誘致促進と茨城港常陸那珂港区の利用促進	企画調整課
29	市職員へのマーケティング思考の定着	企画調整課
30	新たな ICT の導入による市民サービスの向上	情報政策課
31	市税収納対策の推進	収税課
32	市民ニーズに迅速・的確に応えられる人材の確保・育成の推進	人事課
33	効率的な組織の構築と事務の効率化の推進	人事課
A-3	既存事業の見直しによる新規事業の財源確保(R 2 追加)	人事課
A-4	公用車集中管理の推進と次世代自動車の導入促進(R 3 追加)	資産経営課
A-5	人口減少社会を見据えた公共施設マネジメントの推進(R 4 追加)	資産経営課

### 3 部会別改革課題一覧

(※No. の欄中 A で始まるものは、計画期間途中の追加改革課題)

No.	改革課題名称	担当課
<b>(1) 企画部会</b>		
1	公共交通体系の確立（ひたちなか海浜鉄道支援）	企画調整課
2	公共交通体系の確立（コミュニティ交通の充実）	企画調整課
28	ひたちなか地区への企業誘致促進と茨城港常陸那珂港区の利用促進	企画調整課
29	市職員へのマーケティング思考の定着	企画調整課
30	新たな ICT の導入による市民サービスの向上	情報政策課
<b>(2) 総務部会</b>		
31	市税収納対策の推進	収税課
32	市民ニーズに迅速・的確に応えられる人材の確保・育成の推進	人事課
33	効率的な組織の構築と事務の効率化の推進	人事課
A-3	既存事業の見直しによる新規事業の財源確保	人事課
A-4	公用車集中管理の推進と次世代自動車の導入促進	資産経営課
A-5	人口減少社会を見据えた公共施設マネジメントの推進	資産経営課
<b>(3) 市民生活部会</b>		
11	まちづくり市民会議への支援	市民活動課
12	持続可能な自治会活動の支援	市民活動課
13	空き家の有効活用の促進	市民活動課
14	審議会等委員への女性委員の登用	女性生活課
15	避難行動要支援者支援制度の支援体制の構築	生活安全課
19	災害時の物資備蓄拠点整備	生活安全課
20	空き家の発生抑制	市民活動課
<b>(4) 保健福祉部会</b>		
16	小地域ネットワーク事業の推進	高齢福祉課
<b>(5) 子ども部会</b>		
3	子ども子育て支援の推進	子ども政策課
4	計画的な保育所の整備	幼児保育課
5	保育士の確保	幼児保育課
<b>(6) 経済環境部会</b>		
6	ごみ減量化事業の推進	廃棄物対策課
17	耕作放棄地の抑制	農政課
18	海岸の通年利用の促進	観光振興課
<b>(7) 建設部会</b>		
21	中丸川流域における浸水被害軽減プランの推進	河川課
22	下水道事業経営の健全化	下水道課



No.	改革課題名称	担当課
<b>(8) 都市整備部会</b>		
24	公園空白地区への街区公園整備	公園緑地課
25	土地区画整理事業の推進（都市計画道路の重点整備）	区画整理事業所
<b>(9) 水道部会</b>		
26	災害時の応急給水体制の強化	水道事業所
27	耐震性の高い配水管への更新	工務課
<b>(10) 教育委員会部会</b>		
7	公立幼稚園再編拠点化の推進	教委総務課
10	放課後学童クラブ運営の充実	青少年課
A-1	体験学習事業の再構築	青少年課
A-2	コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進	青少年課

## 4 重点事項別実績報告

### 重点事項 1

#### 将来に向けた行政サービスの再構築

## 重点事項 1 将来に向けた行政サービスの再構築

### 1 公共交通体系の確立（ひたちなか海浜鉄道支援）

【企画調整課】

#### ◎ 目標達成状況

■ 指標：湊線利用者数		第9次大綱上の進捗率：86.8%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標 ※	705,000 人	1,307,000 人	1,286,000 人	
実績	719,006 人	1,085,952 人	1,116,350 人	

※平成30年度の実績は1,007,138人。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を見込み目標減員。令和3年度は美乃浜学園の開校に伴う児童・生徒の通学利用を見込み目標増員。令和4年度は沿線高校等の通学者の減少を見込み目標減員。

#### ◎ 実績報告及び実施計画

##### ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

##### ▽ ひたちなか海浜鉄道への支援

- 経営の安定化と安全運行の確保を図るため、継続して経営支援補助や設備投資費補助による支援を行った。
  - 経営支援補助：11,946千円
  - 設備投資費補助：62,681千円（内訳：車両設備 16,667千円（令和4年度予算）、信号保安設備・線路設備 46,014千円（令和3年度繰越予算））

##### ▽ 国県に対する安定的な支援の要請

- 令和4年8月3日に県央地域首長懇話会を通じて国への要望を、同年10月28日に県市長会を通じて県への要望を実施した。

##### ▽ 湊線の延伸

- 工事施行認可申請に向けて、海浜鉄道が行う「工事施行認可申請のために必要な設計」に対する支援や関係機関等との協議・調整を行った。
- 工事施行認可申請期限が令和5年3月31日であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化に伴い、関係機関等との調整に想定以上の時間を要したことや、昨今の社会情勢による資材の高騰等を踏まえ、事業費の上振れを極力抑えるために工事手法の再検討を行うなど、具体的な工事計画の策定に時間を要しているため、国の承認を得て申請期限を令和6年3月31日に延長した。

## 2 公共交通体系の確立（コミュニティ交通の充実）

【企画調整課】

### ◎ 目標達成状況

■ 指標：スマイルあおぞらバス利用者数		第9次大綱上の進捗率：85.2%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標※	137,200人	199,900人	203,800人	
実績	146,529人	160,524人	173,611人	

※平成30年度の実績は193,344人。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を見込み目標減員。

### ◎ 実績報告及び実施計画

#### ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

##### ▽ スマイルあおぞらバスの利便性向上及び利用促進

- 市道東石川高野線開通や、佐和駅東口開設に合わせてのルート見直し案の検討に着手した。
- 小・中学生を対象とした乗車無料月間を実施した。（利用者412人）
- 産業交流フェアにおいて、公共交通ブースを出展した。バスの運転手体験や落書きバスなどのイベントを実施し、子どもがバスに触れる機会を提供することで、公共交通のPRと利用促進を図った。
- 茨城交通に委託している路線において小型バスを1台入れ替え、さくら交通に委託している路線においてワゴン車を1台入れ替えた。

##### ▽ 公共交通の利用が困難な高齢者等の日常生活の移動支援

- 高齢者等の日常生活の移動支援に関する庁内検討会を開催し、各部署における現状や取組状況などの情報交換を行い、情報の共有及び課題の共通認識を図った。福祉部門にて、移動スーパー事業について、令和4年12月に事業者と協定を締結し、令和5年4月からの事業実施となった。

◎ 目標達成状況

■ 指標：子育て世代に選ばれるまちの実現		第9次大綱上の進捗率：-	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	就学後の児童への施策の充実		
実績	就学後の児童への取組を推進できた	就学後の児童への取組を推進できた	就学後の児童への取組を推進できた

◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

- 子育て支援コンシェルジュ事業については、利用者一人一人に合った相談支援を行うとともに、本市ならではの子育ての楽しみ方やライフスタイルを子育て中の当事者の目線から提案した。
  - 相談件数：10件（オンライン相談1件含む）
  - インスタグラム：投稿数222件 フォロワー数652人（3月末日現在）
  - 子育て冊子の配布（ファッションクルーズ及びジョイフル本田の専用ラックで約5,000部配布）
  - 公園マップの作成
- 子育て支援センター「ふぁみりこ」については、万全な感染予防対策を講じ、予約制により利用人数を制限した上で運営を行った。
  - 利用人数：ひろば14,535人  
一時預かり1,035人
- 那珂湊児童館，子どもふれあい館，長松子ども館については，感染予防に十分配慮した運営を行った。
  - 利用人数：那珂湊児童館3,585人  
子どもふれあい館8,265人  
長松子ども館4,518人（小学生のみ） ※約2か月間休館
- 子どもの居場所運営支援事業については，計6団体が市内各所で事業を実施した。
- 未就学児の子ども及びその家庭に対し，一元的な支援を行う体制を構築した。
  - 健康推進課より母子保健部門を移管するなど，子どもに係る施策を集約し，令和5年度より子ども部を新設する。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：認可保育所数		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	公立 5(うち小規模保育所 1)・私立 19			
実績	目標数を確保した	目標数を確保した	目標数を確保した	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

- 令和4年4月の待機児童はゼロとなっており、計画的に低年齢児の供給体制を整備した効果が継続している。
- 地域交流事業「あひるくらぶ」については、新たに設置した専用の部屋や事業内容についてホームページや市報で広報を行ったほか、申込方法を電話から電子申請に変更した。事業の周知や利用者における申込方法の利便性が向上したことから、定員が10組のところ約80組の申し込みがあり、申込件数が前年度比約8倍となった。
- 病後児保育については、ポスターの掲示やリーフレットの配布を市内の保育所や幼稚園、学童クラブ等に依頼した。これにより事業の周知が図られたことから、申込者の月平均人数が28人で前年度比約1.2倍となり、病後児保育の利用促進に繋がった。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：保育士が働きやすい職場環境の実現		第9次大綱上の進捗率：-	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	保育士の不安や負担軽減に向けた取り組みを実施する		保育士が安心して働ける環境を整える
実績	保育士が働きやすい環境づくりに取り組んだ	保育士が働きやすい環境づくりに取り組んだ	保育士が働きやすい環境づくりに取り組んだ

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

- 公立保育所における非常勤保育士の就職説明会及び見学会、職場体験ボランティアの受け入れを実施した。
  - 【効果】明るく和やかな雰囲気で開催することができ、見学会参加者のアンケートでは、有益だったとの回答が多数あったことから、保育所の現場への不安解消や保育所の魅力向上に寄与することができた。また、事業を実施したことにより、参加者のうち3名を公立保育所の非常勤保育士として採用することができた。
  - 【実績】公立保育所非常勤保育士就職説明会&見学会 参加者 6名  
公立保育所職場体験ボランティア 参加者 延べ11名  
いいよね保育士！幼稚園教諭！就職フェア ※荒天（雪）により中止
- 保育業務のICT化については、タブレット端末やスマートフォンアプリを用いた保育業務支援システムを導入しており、職員及び児童の登降園管理や保育日誌の電子化など、保育士の事務負担軽減を図り、環境改善に取り組んでいる。
- 公立保育所における職場の雰囲気を感じる機会や保育士と接する機会を作り、保育士に興味を持つ学生を増やすことで、保育士確保につなげることを目的に、保育士養成校を訪問し出前セミナーを実施した。
  - 【効果】開催した学校からは、保育の在り方や現状について実感できる機会となった、現場の保育士と直接話ができる貴重な機会だったとの感想もあったことから、保育士という職業について、多くの学生に興味を持ってもらうことができた。
  - 【実績】常盤短期大学 参加者 25名  
茨城キリスト教大学 参加者 10名  
茨城女子短期大学 参加者 53名  
合計 88名

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量		第 9 次大綱上の進捗率：104.7%		
区分\年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
目標	1,034.0 g	1,020.9 g	1,015.2 g	
実績	1,031.0 g	989.0 g	970.0 g	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和 4 年度実績報告 令和 4 年度実施計画の達成状況【A】

## ▽ ごみ処理基本計画の推進

- 市のホームページや産業交流フェアにおける「消費生活展」での劇において、生ごみ減量化に向けた「3 切り運動」及び「食品ロス削減」を啓発した。
- 使い捨てプラスチック削減のため、本市を一事業者と捉え、職員にペットボトル製品を購入せず、マイボトルを持参するように推進した。また、市主催の会議やイベント等でペットボトルによる飲料提供を行わないことや使い捨てのプラスチック製品の使用を控えるよう周知した。
- (株)マーケットエンタープライズと事業連携協定を締結し、家具・家電等の一括査定・買取サービス「おいくら」の活用を促進している。
- リネットジャパンリサイクル株式会社と事業連携協定を締結し、同社の宅配便によるパソコンの無料回収・リサイクルの利用を推奨している。
- 産業交流フェアの「消費生活展」において、再生家具販売を実施した。

## ▽ 地域への啓発等

- アパート・マンション等 8,150 世帯へのごみ分別パンフレットのポスティングを実施するとともに、自治会等を対象とした市政ふれあい講座を 5 回開催し、ごみの減量等について啓発を行った。



## 7 公立幼稚園再編拠点化の推進

(教育委員会総務課)

### ◎ 目標達成状況

■ 指標：公立幼稚園の再編拠点化（公立幼稚園数）		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	5園	4園	4園	
実績	5園	4園	4園	
■ 指標：幼稚園関係者評価アンケート各項目で最上評価をした保護者の割合		第9次大綱上の進捗率：50%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	12項目それぞれについて68%以上	12項目それぞれについて72%以上	12項目それぞれについて75%以上	
実績	12項目中11項目について68%以上	12項目中10項目について72%以上	12項目中6項目について75%以上	
■ 指標：3歳児保育の実施園（公立幼稚園）		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	3園	3園	4園	
実績	3園	3園	4園	

### ◎ 実績報告及び実施計画

- | ■ 令和4年度実績報告   | 令和4年度実施計画の達成状況【B】 |
|---|-------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3歳児保育については、那珂湊第三幼稚園において開始したことより、公立幼稚園全園での実施体制となった。令和4年度においては、那珂湊第一幼稚園以外の3園で利用があった。</li> <li>● 保護者への適切な対応及び幼稚園の円滑な運営に資するよう、職員の資質向上のため、外部講師による研修を行った。</li> </ul> |                   |

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：放課後児童支援員の認定資格研修受講率		第9次大綱上の進捗率：87.2%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	放課後児童支援員数 96人中、 受講者数82人 (受講率85.4%)	放課後児童支援員数 98人中、 受講者数90人 (受講率91.8%)	放課後児童支援員数 100人中、 受講者数94人 (受講率94.0%)	
実績	放課後児童支援員数 97人中、 受講者数66人 (受講率68.0%)	放課後児童支援員数 110人中、 受講者数69人 (受講率62.7%)	放課後児童支援員数 113人中、 受講者数82人 (受講率72.6%)	

※令和4年度の目標については、前年の受講率等を鑑み、第9次行財政改革大綱掲載値より引き上げて設定。

※放課後児童支援員数及び受講者数は、会計年度任用職員（嘱託職員）のみの人数を計上。

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 「ひたちなか市公立学童クラブ運営指針」に基づく学童クラブ運営の更なる推進

- 育成支援の向上及び平準化を図るため、各クラブにおいて行われる運営会議に積極的に出席し、運営体制への指示や助言を行った。また、新規任用職員に対して初任者研修を企画・開催し、運営指針の浸透に努めた。
- 定期的に開催する主任会議において、最新情報の共有や運営体制への指示・助言や支援員同士の意見交換会等を行い、クラブ運営の平準化に努めた。

## ▽ 放課後児童支援員の確保及び質の向上

- 主に各クラブの担当職員において、会計年度任用職員の相談等に丁寧に対応し、職場環境の改善に努めた。健康管理については、教育委員会事務局総務課の保健師と連携し、要精密検査者及び精神的不調を訴える職員について適宜面談等を行い離職防止に努めた。（令和4年度中途退職者は8人、うち職場環境を理由とする退職は2人）
- ハローワーク、ホームページ等で支援員を募集し、14名を新規採用した。
- 支援員の研修については、初任者研修、交換研修を企画・開催したほか、資質向上に関する研修等の外部研修を4回延べ69人受講した（5回の内1回中止）。
- 茨城県放課後児童支援員認定資格研修を21人受講（うち、会計年度任用職員は13人）し、支援員資格を取得した。
- 「放課後児童支援員補助従事者派遣」を活用し、長期休業期間中の支援員の不足を補った（夏期10人、春期9人）。
- 有償ボランティア管理システムを構築し、煩雑な事務業務の改善に努めた。

## ▽ 保育料収納方法等の拡充について

- 就労で日中に銀行等で納付することが困難な保護者等のため、青少年課窓口（平日8：30から18：30まで）における現金納付を継続した。（窓口納付件数149件、726,000円）

- 「公立学童クラブ保育料滞納整理マニュアル」に基づき高額滞納者を中心に連絡を取り、滞納の解消に努めた。(滞納 403 件 848,000 円中, 258 件 542,000 円収入済。R5. 5. 10 現在)

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：市主催の体験活動への参加者数		第9次大綱上の進捗率：138%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	0人	40人	100人	
実績	0人	9人(中止)	138人	

※令和2年7月21日(火)～25日(土)(4泊5日、定員216名)で実施予定だった洋上学習は新型コロナウイルス感染予防のため中止。また自然体験キャンプ事業は令和2年度から廃止。

※令和3年度は仕事体験交流事業の参加者数を計上し、令和4年度は仕事体験交流事業及び国営ひたち海浜公園における新規の体験学習事業の参加者数(目標)を計上する。

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 体験学習事業について

- 仕事体験交流事業(ひたちなか海浜鉄道湊線での乗車・駅員体験、湊線に関する学習)を令和4年8月24日に実施した。
  - 参加者数：42名(午前の部：22名、午後の部：20名)※当日、3名欠席
  - 当初、40名の募集であったが応募者多数であったことから参加者枠を増やし事業を行った。
- ひたちなか海浜鉄道株式会社の協力のもと、ひたちなか市の特色のひとつである「湊線」の車両を貸し切り、車内アナウンスや車両清掃などの仕事を体験した。車内アナウンスは貸し切り車両から行ったが、連結されている車両には一般乗客も乗車していたことから、緊張している子ども達の様子が見られた。実際の仕事体験に緊張しながらも積極的に取り組む様子が見られた。

## ▽ 国営ひたち海浜公園と連携した体験学習事業について

- 海浜公園ならではの普段経験できない活動や、海浜公園内で通常では入ることのできないエリアに入り、自然や歴史を学ぶことができたことから、積極的な児童が多数見られた。また、参加児童の保護者からも、本事業を続けてほしいとの声があった。
  - 6月26日(日) コキアの苗植え付け体験 参加者：39組
  - 9月11日(日) 沢田湧水地自然観察会 参加者：4組
  - 11月27日(日) ネモフィラの播種体験 参加者：40組
  - 3月12日(日) 射爆場監視所跡見学会 参加者：13組

## **重点事項 2**

**時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進**

## 重点事項 2 時代の変化に柔軟に対応する協働のまちづくりの推進

### 11 まちづくり市民会議への支援

【市民活動課】

#### ◎ 目標達成状況

■ 指標：市民ニーズに合ったまちづくり		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	市民会議からの提言の施策への反映			

#### ◎ 実績報告及び実施計画

##### ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

- 市民会議をはじめとする各コミュニティ組織で地域の特性に応じた事業を行うにあたり、協働のまちづくりにおける組織運営や会議運営等を学ぶ講義とグループワークを組み合わせた研修会を開催した。
  - 日時：令和5年11月22日（火）13時30分～16時
  - 場所：ワークプラザ勝田大会議室
  - テーマ：「多くの市民が参加し、活躍する組織づくりを学ぼう」
  - 参加人数：37名
- 年度末に市民会議で取り上げられた課題や議論されたテーマについて取りまとめ、庁内掲示板で進捗状況等を発信し、庁内における情報の共有を図った。
  - 令和4年度実績：9コミュニティ組織で計25回開催
  - 主なテーマ：高齢者のゴミ出し・買物支援，地域・学校協働活動への取組，旧阿字ヶ浦中学校の跡地利用など
- 各市民会議の運営主体であるコミュニティ組織で構成された「コミュニティ組織連絡協議会」へ運営支援を行うとともに、各地域で議論されているテーマや会議の進捗状況などの情報交換を行い、各地域の取組等を確認した（年2回実施済）。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：リーダー研修会参加者数		第9次大綱上の進捗率：31.3%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	83人 (83自治会×1人)	166人 (83自治会×2人)	249人 (83自治会×3人)	
実績	66人	102人	78人	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 自治会への加入促進

- 自治会活動ガイドブック「おとなりさん」を1,500部、自治会加入チラシを6,000部増刷し、自治会内での活用や市民課窓口において転入者へ配布するなど、自治会活動の重要性や必要性の周知に努めた。また、二十歳の集いの記念品にチラシを同封し、自治会活動への理解を深めた。

## ▽ 将来の地域活動の担い手育成

- 自治会連合会と協働で実施した自治会活動推進ポスターの募集では、14小学校から99点の応募があり、入賞作品（最優秀賞1点、優秀賞19点）については、表彰式（11/26）を行うほか、産業交流フェア（11/5,6）や市役所本庁舎市民ホールのデジタルサイネージ（11/29～12/9）にて展示を行った。

## ▽ 自治会運営の支援

- 自治会長や自治会役員を対象として、研修会等を実施した。
  - 情報交換会：9月30日（自治会長等70名参加）
  - リーダー研修会：11月26日（自治会長等78名参加）
  - 自治研修懇話会：1月26日（自治会長等71名参加）
  - 自治運営視察研修：2月7,8日（自治会長等40名参加）
- 財政支援として、集会所建設費補助金の限度額・補助率等の見直しを行った。また、原油価格・物価高騰に伴う防犯灯電気料金の高騰支援として、防犯灯1灯あたり480円の補助を行った。
  - 補助金額：4,408,320円（@480円×9,184灯）
- 自治会におけるICT活用支援
  - グループウェアソフト「サイボウズ」の導入推進：アカウント登録数55/83自治会
  - 自治会向けパソコン講座：22回開催（自治会長等100名参加）
  - 自治会向けスマートフォン講座：5回開催（自治会長等17名参加）

◎ 目標達成状況

■ 指標：空き家の有効活用累計		第9次大綱上の進捗率：33.3%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	1戸	2戸	3戸	
実績	0戸	1戸	1戸	

◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

▽ 空き家を活用した地域交流拠点づくり

- 子育て支援を行う団体から地域交流拠点に適した空き家の情報提供依頼があり、団体の希望する立地・建物の規模に合致する空き家を選定し、空き家所有者の意向確認を行ったうえで団体に情報を提供した。
- 空き家の所有者と団体の現地立会いを令和5年4月24日に実施。
- 有効活用に向け双方が前向きに検討することになった。

▽ 空き家バンク事業

- 成約件数4件，物件登録数8件，利用登録数25件



## ◎ 目標達成状況

■ 指標：審議会での女性委員参画率		第9次大綱上の進捗率：92.7%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	25.0%	27.0%	30.0%	
実績	25.2%	24.95%	27.82%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【B】
-------------	-------------------

## ▽ 取組事項

- 市の審議会等における委員を委嘱する際に、積極的改善措置（ポジティブアクション）を講じ、男女の均衡を図ることが望ましいため、令和4年度中に委員の改選を行う課に対して女性委員の選出について働きかけを行い、参画率の向上を図った。
- 研修会や男女共同参画講座などを活用し、女性が審議会において、多様な考え方や視点を生かしながら意見を出すことができるよう意識醸成を図った。

## ▽ 実績値

- 審議会等における女性の参画率：27.82%（令和5年3月末現在）
- 女性バンク新規登録者数：1名
- 女性バンクからの審議会等への推薦者：1名

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：防災士資格取得者数		第9次大綱上の進捗率：84.4%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	190名	220名	250名 (1 自主防災会 3 名程度)	
実績	195名	206名	211名	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

## ▽ 自主防災会に対する普及・啓発

- 新任自治会（自主防災）会長に対して、研修会にて避難行動要支援者\*制度について、名簿登録や支援内容についての説明を行った。
- 11月、3月に避難行動要支援者名簿を更新した。
- 災害発生時に地域で把握しきれない要支援者の安否確認等の対応に係る制度設計に向けた福祉部との協議を開始し、現状の支援体制に関する課題の共有を図った。

※ 避難行動要支援者…ひとり暮らしの高齢者や障害のある方など、避難をするのに手助け（支援）を必要とする方のこと。

## ▽ 防災士の資格取得の支援

- 防災士\*養成研修「いばらき防災大学」の開催を自主防災会に周知し、資格取得に要する費用の一部を補助するなど、地域防災力の向上を図るための支援を実施している。令和4年度の県央・県北地区における「いばらき防災大学」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模縮小されたが、自主防災組織に属する1名が防災士の資格を取得した。

※ 防災士…防災についての十分な意識と一定の知識・技能について、日本防災士機構が認証する資格のこと。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：小地域ネットワーク数		第9次大綱上の進捗率：81.4%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	907 ネット	927 ネット	947 ネット	
実績	843 ネット	792 ネット	771 ネット	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 事業の啓発活動

- 各支部における啓発会議や懇談会，研修会において小地域ネットワーク※の説明を行った。
- 地区民生委員・児童委員協議会においても同様に説明を行った。
- 高齢者クラブと福祉部会を対象に市政ふれあい講座を2回開催し，啓発を行った。  
※ 小地域ネットワーク…ひとり暮らし高齢者が，地域で孤立することなく安心して生活できるよう，近所の住民が協力員となり，日常的な見守りや声掛け等を行う仕組みのこと。

## ▽ 緊急通報システム事業利用者への提案

- 緊急通報システム※事業の利用申請者に対し，小地域ネットワーク事業を並行して利用することで，より充実した見守りを受けられることを案内し，利用促進に努めた。  
※ 緊急通報システム…70歳以上のひとり暮らし高齢者の自宅に専用の端末機を設置し，緊急ボタンを押すことで急病時など緊急時に素早く助けを受けられる仕組みのこと。

## 《目標を達成できなかった要因》

- 新型コロナウイルス感染症の影響により，高齢者が集う機会が激減し，十分な啓発活動を行うことができなかった。
- 協力員のなり手不足に対しては，地域の実情に応じて協力員の構成人数を少なくするなど，条件の緩和を講じているところではあるが，協力員についても高齢化が進み，協力が得られにくくなっていることから，ネットワーク数の増加に繋がらなかった。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：耕作放棄地流動化事業補助金新規対象面積		第9次大綱上の進捗率：232.6%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	2,900 m <sup>2</sup>	3,900 m <sup>2</sup>	5,000 m <sup>2</sup>	
実績	8,163 m <sup>2</sup>	3,050 m <sup>2</sup>	16,231 m <sup>2</sup>	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【B】
-------------	-------------------

## ▽ 担い手の確保

- 本市特産品のPR活動を、銀座の茨城センスや都内で開催された茨城ふるさとフェアにおいて行ったほか、関西地域におけるメディアプロモーションを行い、本市特産品の販売を促進し農業者の経営基盤の強化を図るとともに、農業後継者クラブへの支援を行い農業の担い手の確保に努めた。

▽ 耕作放棄地流動化事業<sup>※</sup>の利用促進

- 認定農業者等の担い手に対し、「耕作放棄地流動化事業」について周知するとともに利用を促進した。（耕作放棄地流動化事業の目標を達成）
  - ※ 「耕作放棄地流動化事業」…市内の耕作放棄地を解消するため、補助金を交付し耕作放棄地の再生化及び流動化を図る事業のこと。

▽ 人・農地プラン<sup>※</sup>の推進

- 各地域における「座談会」の開催に向け、認定農業者を対象に「地域計画」作りの進め方に関するセミナーを開催した。
  - ※ 「人・農地プラン」…農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：海水浴期間以外の通年利用の実績		第9次大綱上の進捗率：-	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	1件（1か月）	2件（3か月）	3件（4か月）
実績	3件（2か月）	4件（3か月）	4件（4か月）

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

- 昨年に引き続き、コロナ禍で3密を回避しながら楽しめる場所として海岸への来訪者が多いこと及び海の通年利用の推進により集客イベントが開催されることを踏まえ、海の家1件が海水浴期間終了後、11月10日まで営業を継続し、飲食の提供を行うことで来訪者の満足度向上に寄与した。
- 海で過ごす一足早いクリスマスイベントとして、12月4日に阿字ヶ浦祭～海と過ごすクリスマス～が開催され、ビーチスポーツ体験やアウトドア体験の他、ステージイベントを実施し、夕暮れからはこの日限定で建てられるクリスマスツリーを点灯、さらにイベントの締めくくりには野外映画上映を行い、地域に人々を呼び込み活力を与えた。また、1月21日、22日には閑散期である冬にも人が集まるような、明るく自由に開放的な空間を目指して、阿字ヶ浦ウインターアウトドアフェスが行われ、阿字ヶ浦海岸周辺の地域一帯を会場に、ビーチサウナ、焚火、マルシェ等を開催した。
- 阿字ヶ浦海岸の通年利用を目標に掲げる「イバフォルニア・プロジェクト」の取組の一環として、4月及び11月に、実行委員会による「阿字ヶ浦サンデーマーケット」、6月には「イバフォルニアマーケット」が開催され、多くの来場者や海辺の街「阿字ヶ浦」をワーケーション\*の場とするアジケーション\*参加者に、海と共に過ごす快適な空間及び時間を提供した。
  - ※ 「ワーケーション」…「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。観光地やリゾート地でテレワークを活用し、働きながら休暇を取る過ごし方のこと。
  - ※ 「アジケーション」…「阿字ヶ浦」と「ワーケーション」を組み合わせた造語。
- 海や砂浜に親しんでいただくことをテーマに、令和5年3月にビーチフェスタ in 阿字ヶ浦が開催され、ステージを中心とした子ども達の和太鼓演奏や合唱、ダンスなどが発表され、来場者と地域の交流が図られた。

## A-2 コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の推進【指導課・青少年課】

### ◎目標達成状況

■指標：学校運営協議会の設置学校数		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	-	25校	25校	
実績	-	25校	25校	
■指標：地域学校協働活動の実施学校数		第9次大綱上の進捗率：0%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	-	0校	4校	
実績	-	0校	0校	

### ◎実績報告及び実施計画

■令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【B】
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 青少年課，指導課において地域の会議等に参加し，制度について詳しく説明するなど，理解を深めるための働きかけを行った。その中で地域と学校との関わり方や，それぞれが抱えている問題など，学校・地域によって問題はそれぞれであり，地域の実情に合わせた推進が必要になるため，地域全体一律の推進は困難であることがわかった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ まず，第一段階として，モデル地区の実施に向け，地域と調整していく。</li> </ul> </li> <li>● 社会教育委員の会議において，本市におけるコミュニティ・スクール<sup>※</sup>と地域学校協働活動の一体的な推進のための調査テーマを決定した。令和5年度に調査・研究を進めていく。</li> <li>● コミュニティで地域学校協働本部<sup>※</sup>に興味を示している中学校区があるため，引き続きモデル地区が設置できるよう推進していく。また，コーディネーターについても，他の事業において類似の活動を行っている人材等との連携ができないか調整を進めていく。</li> </ul>	<p>※ コミュニティ・スクール…保護者や地域のニーズを学校運営に反映させるため地域住民が学校運営に参画する仕組み（学校運営協議会）を導入している学校のこと。</p> <p>※ 地域学校協働本部…多くの幅広い層の地域住民，団体等が参画し，緩やかなネットワークを形成することにより，地域学校協働活動を推進する体制のこと。</p>

## **重点事項 3**

**安全で住みやすい都市基盤の強化**

## 重点事項3 安全で住みやすい都市基盤の強化

### 19 災害時の物資備蓄拠点整備

【生活安全課】

#### ◎ 目標達成状況

■ 指標：拠点の整備		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	拠点の着工	拠点の竣工，運用開始	拠点の運用	
実績	拠点の着工	拠点の竣工，運用開始	拠点の運用	

#### ◎ 実績報告及び実施計画

##### ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

###### ▽ 拠点の運用

- 6月に運用マニュアルを策定した。また、災害時における拠点の実運用に向け、備蓄品の集積等を行った。
- 8月の総合防災訓練において、災害時の避難所への物資供給を想定した実働的な訓練を実施した。

###### ▽ 効果

- 災害時における実稼働はなかったものの、物資輸送における十分な荷捌き等のスペースを設けることができたことから、訓練においては従前より効率的な物資供給が可能となった。さらなる物資供給の円滑化に向け、担当部署との意見交換を行いながら運用方法等をブラッシュアップしていく。





## ◎ 目標達成状況

■ 指標：所有者からの相談数		第9次大綱上の進捗率：265.7%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	82件	92件	102件	
実績	67件	99件	271件	
■ 指標：高齢者への啓発		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	未実施	未実施	実施	
実績	未実施	実施	実施	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定資産税・都市計画税納税通知書に空き家の適正管理を啓発するリーフレットを同封した（63,000通）。</li> <li>● 専門家（建築士・宅地建物取引士・司法書士）による無料相談会を開催した（2回実施14件）。</li> <li>● 国保年金課が後期高齢者に送付する医療保険料納入通知書に、住まいの終活を啓発するリーフレットを同封した（21,500通）。</li> <li>● 高齢福祉課，社会福祉協議会及びおとしより相談センターの窓口に高齢者向けの啓発リーフレットを設置した。</li> </ul>	

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：進捗率：(工事延長進捗率+事業費進捗率)/2		第9次大綱上の進捗率：66.7%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	25.0%	41.4%	64.2%	
実績	25.0%	39.1%	42.8%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 下水道事業

- 高場雨水1号幹線 整備工事（長さ100mを整備）施工中 令和6年2月完了見込
- 高場雨水4号幹線 整備工事（長さ150mを整備）施工中 令和6年2月完了見込
- 高場雨水9号幹線 整備工事（長さ480mを整備）工事完了
- 大島第2幹線 整備工事（長さ500mを整備）

## ▽ 河川事業

- 大川 改修工事（長さ280mを整備） 施工中 令和5年12月完了見込
- 大川 拡幅用地取得 用地交渉中
- 中丸川 改修工事（茨城県事業） 施工中 令和6年3月完了見込
- 多目的遊水地 整備工事（茨城県事業） 施工中 令和6年3月完了見込

## 【工事延長進捗率（完成延長/全体延長）対象事業】

高場雨水1号幹線，高場雨水2号幹線，高場雨水4号幹線，高場雨水9号幹線，高場雨水11号幹線，高場雨水15号幹線，大島第1幹線，大島第2幹線，大島第7幹線，大川，中丸川

## 【事業費進捗率（事業費/全体事業費）対象事業】

高場流域雨水調整池，雨水貯留施設，多目的遊水地

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：全体計画の見直し		第9次大綱上の進捗率：90%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	50%	100%：令和3年度見直し完了		
実績	50%	75%	90%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 下水道事業経営戦略の策定

- 令和3年度実績と下水道使用料の実態把握を行い、令和4年度末に収支計画等の見直しを実施した。令和5年度は、今までの作業を基に経営戦略を改定する。

## ▽ 下水道事業全体計画の抜本的見直し

- 整備完了目標年次の設定について、方向性は決定しており、整備進捗に合わせ随時見直しを行う。令和6年度から令和10年度までの事業計画に盛り込む新たな整備区域の選定は完了している。令和5年度の事業計画変更作業において組み込む予定である。

## ▽ 下水道施設の改築と広域化・共同化

- 下水道施設の改築については、下水浄化センターの改築及び耐震補強を日本下水道事業団へ施工委託しており、令和4年度は自家発電設備等の設計及び工事を実施した。汚水処理施設の広域化・共同化については、県が令和4年度末に広域化・共同化計画を策定したことから、本市下水道事業に係る全体計画及び事業計画の変更に向けて作業を進めている。令和6年度に全体計画の変更作業を実施し、令和7年度に事業計画の変更作業を実施する予定である。

## ▽ 下水浄化センター等事業運営に向けた課題への対処

- 汚水管きよの整備進捗率は令和4年度末で59.9%（対全体計画区域面積比）となった。今後も整備を円滑に進めるためには新たな整備手法を取り入れることも重要であるため、その足がかりとしてPPP/PFIの提案募集を本市下水道課ホームページで実施している。しかしながら、官民連携の整備手法は、事前調整に3年程度の時間を費やすこと、導入後も監理業務が一部必要となり職員の負担軽減に必ずしも繋がらないことが大きな課題である。今後も提案募集と情報収集を継続し、実現可能な事業があれば実施する予定である。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：公園空白地区に整備した公園の数		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	3公園	4公園	5公園	
実績	3公園	4公園	5公園	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【B】
-------------	-------------------

## ▽ 公園の整備

- 大平地区の公園整備に係る用地取得は8月に取得完了し、令和5年度整備完了に向け地元との協議を現在進めている。
- 磯崎町地区の公園整備について、整備内容に関する地元との協議に時間を要したため繰越となったが、5月中旬に磯崎公園として整備完了し供用開始する見込である。

## «参考» 整備スケジュール

地区\年度	H31/R1	R2	R3	R4	R5
田彦東	公園整備				
金上		公園整備			
田彦西		用地取得	公園整備		
磯崎町				公園整備	
大平				用地取得	公園整備

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：事業量ベース進捗率		第9次大綱上の進捗率：98.7%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	72%	76%	77%	
実績	71%	73%	76%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 東部第2地区

- 向野西原線については、令和4年度内に残工事の完了を目指していたが、関係権利者との折り合いがつかず現時点で施工できる部分は完了した。（進捗率73%）

## ▽ 佐和駅東地区

- 高場高野線と佐和停車場高野線の連結については、関係官庁との協議に時間を要したため、改良工事を翌年度に繰り越すことになった。
- 駅前広場整備については、関連工事（佐和駅東西自由通路、新駅舎等）の整備スケジュールに合わせ、令和4年度整備分を翌年度に繰り越すことになった。

## ▽ 武田地区

- 武田堀口線（旧武田市毛線）については、令和5年3月16日に全線開通した。（進捗率100%）

## ▽ 六ツ野地区

- 東石川六ツ野線については、令和2年8月11日に全線開通している。（進捗率100%）
- 東石川高野線については、令和5年3月28日に全線開通した。（進捗率100%）

## ▽ 阿字ヶ浦地区

- 阿字ヶ浦北通り線については、森林法の規定に基づく保安林の指定解除に向けた協議を実施した。

## ▽ 船窪地区

- 船窪和尚塚線については、交差点詳細設計委託の成果を基に県警との交差点協議を実施した。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：訓練実施自主防災会数		第9次大綱上の進捗率：133.3%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	26 団体	28 団体	30 団体	
実績	26 団体	26 団体	32 団体	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

- 令和4年度新任自治会長研修会において、大平自治会外7自治会に対し、災害時の応急給水活動及びフレキシブルタンク等の使用方法の説明を行った。
- 総合防災訓練時に16団体にフレキシブルタンク等を貸し出し、うち12団体に対して訓練会場にて職員が説明指導を行い、市と自主防災会が協働で訓練を実施した。また、独自に防災訓練を実施した1自治会に対してもフレキシブルタンク等を貸し出した。
- 自主防災会によるフレキシブルタンクを用いた応急給水活動について理解してもらうため、作業方法の動画を作成し、市のHPに掲載した。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：配水管の耐震化率		第9次大綱上の進捗率：90.9%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	45.3%	46.3%	47.3%	
実績	45.3%	46.1%	46.9%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

## ▽ 配水幹線更新事業

- 市毛系配水幹線（管口径 700mm）の更新工事のうち、県道那珂湊那珂線に布設する国道6号市毛十字路交差点西側から市毛コミュニティセンター付近までの約 650m については、令和4～5年度の継続事業により発注した。
- 市営市毛第一アパート北側の既設配水幹線との接続工事（5工区）や市毛十字路交差点西側の開削工事（1工区）は、交通規制や施工時期などについて関係機関と調整を行った。

## ▽ 重要給水施設配水管更新事業

- 市の北西部（田彦、稲田地区）へ給水する国道6号に布設されている配水管（管口径 350mm）については、基本設計業務委託を実施し、更新ルートや工法、概算事業費について検討を行った。
- 東石川から笹野町までの昭和通りに布設されている配水管（口径 300mm、延長約 2,000m）については、詳細設計業務委託を実施した。

## ▽ 配水管布設替事業

- 法定耐用年数40年が経過した塩化ビニル管（口径 50mm から 250 mm、延長 4,939.2m）を更新した。

## **重点事項 4**

**自立的で持続可能な財政基盤と**

**効率的な行政運営の確立**



## 重点事項4 自立的で持続可能な財政基盤と効率的な行政運営の確立

### 28 ひたちなか地区への企業誘致促進と茨城港常陸那珂港区の利用促進

【企画調整課】

#### ◎ 目標達成状況

■ 指標：ひたちなか地区における固定資産税等税収の合計額		第9次大綱上の進捗率：96.5%	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	1,699 百万円	1,802 百万円	1,907 百万円
実績	1,707 百万円	1,529 百万円	1,840 百万円

#### ◎ 実績報告及び実施計画

##### ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【B】

##### ▽ 企業誘致プロモーション

- 茨城県工業団地企業立地推進協議会が主催する「いばらき産業立地セミナーin東京」が11月に開催され、茨城県から参加企業に対して、茨城港常陸那珂港区をはじめとする本県の優れた産業インフラが紹介されるとともに、本市からは、ひたちなか地区の土地利用や茨城港常陸那珂港区の利用促進に向けたPR活動を実施した。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により企業訪問の実施が難しい状況であったが、企業立地に関する問い合わせに対して、本市の事業用地や産業流通インフラ環境、優遇制度に関する説明を実施した。また、ひたちなか地区へ工場の建設を予定している企業に対して、当該企業における懸案等事項をフォローアップするため庁内関係部署を集め実務者協議を実施した。

##### ▽ 地元雇用の創出

- カーレポ（5/13）、高周波熱錬（5/16）、日立建機（5/16）、コマツ茨城工場（5/16）の計4社において生徒と共に訪問して情報交換を行ったほか、市内及び市近隣高等学校のべ14校の進路指導担当教諭に情報提供を行うとともに、情報交換会を実施した。  
➤ 採用実績：43名（4社計）

##### ▽ 常陸那珂港区の利用促進

- 茨城県や常陸那珂港振興協会等が主催する「茨城港北関東セミナー」が1月に群馬県高崎市で開催され、北関東地域をはじめとした荷主企業、物流企業等から約150名の参加があり、茨城港常陸那珂港区の定期航路の就航状況やコンテナ貨物集荷促進事業等についてPRを行った。
- コンテナ貨物の更なる集荷及び定期航路の拡充に向けた取り組みとして、茨城県、東海村及び茨城ポートオーソリティとともに実施している「コンテナ貨物集荷促進事業※」については、令和2年度から北米や欧州等との定期航路（基幹航路）開設に向けた助成メニューを創設し、関係機関と連携してPRに取り組んでいるところである。その結果、常陸那珂港区のコンテナ取扱量については、令和元年は44,081TEU、令和2年は過去最高の47,539TEU、令和3年は42,423TEU、令和4年は46,710TEUと4年連続で40,000TEUを超えている。

※ コンテナ貨物集荷促進事業：常陸那珂港区のコンテナ貨物の取扱量を増やし、海上コンテナ輸送の活性化を図ることを目的として、コンテナ貨物の輸出入に要する経費の一部を助成する事業。

※ TEU：コンテナ取扱貨物量を表す単位。20フィートコンテナ1本を1TEUとする。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：庁内セミナー延べ受講者数		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	60人	90人	120人	
実績	48人	58人	154人	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
-------------	-------------------

## ▽ 民間のマーケティング手法を取り入れた調査、分析結果を活用した施策の展開

- 移住・定住の促進，関係人口の拡大に向けて，市民サポーターである「いいところ発信隊」による住民目線での魅力発信や，Web 広告等を活用した情報発信など，効果的なプロモーションを行った。また，お試し移住の実施やひたちなか市のファンを増加させる取組を行うなど，つながりや関わりを深化させる事業を充実させた。
- シビックプライドと SDGs を関連付けた市報特集号やシンポジウムを開催し，その理念の浸透を図った。また，シンポジウムでは，お笑いトリオ・森三中の黒沢かずこ氏が本市初となる「ひたちなか応援大使」に就任した。
- 三世代同居等支援住宅助成金の内容を見直し，新たに創設した県外出身の子育て世帯の住宅取得に対する助成については利用数が増加した。

## ▽ 職員のマーケティング思考の定着

- マーケティングに関する庁内マーケティングセミナー（主たる参加者は庁議構成員）を実施し，35名が受講したほか，マーケティングから施策化された「シビックプライドの取組」に関するセミナーには61名が受講し，令和4年度は計96名が参加した。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：AI, RPA 等の導入件数		第9次大綱上の進捗率：50.0%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	2件	4件	6件	
実績	2件	3件	3件	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告

## 令和4年度実施計画の達成状況【B】

## ▽ 市民サービスの向上

- 行政手続のオンライン化については、「自治体DX<sup>※</sup>推進計画」において「特に国民の利便性向上に資する手続き」とされた31手続きのうち市町村に係る27手続きにおいて、マイナンバーカードを用いたオンライン手続きを開始し、市民は24時間365日いつでも好きな時に好きな場所で手続きできるようになった。

※ DX (Digital Transformation) : データやデジタル技術の活用によりビジネスモデルを変革し、企業・組織の競争上の優位性を確立すること。

※ 自治体DX : DXの恩恵を受ける対象を「地域住民」と明確に定め、地域住民の生活に役立つサービスの提供を目標とする。

- オープンデータの公開については、国が定めた「推奨データセット」を基に公開する内容等を検討してきたが、推奨データセットの内容を見直した「自治体標準オープンデータセット」が新たに公開されることとなったため、公開後に内容等を再検討することとした（「自治体標準オープンデータセットは令和5年3月31日公開」）。

## ▽ 事務の効率化

- AI-OCR<sup>※</sup>、RPA<sup>※</sup>については、令和3年度に実施した業務量調査や他自治体の導入事例を参考に候補業務を抽出し、導入に向けた実証実験を行った（AI-OCR:6課10業務、RPA:4課4業務）。その結果、本市の基幹システムとの適合性が高いことと、実証実験を行った業務のうち半数以上の業務において、迅速性や正確性の向上が期待できることが確認できたため、AI-OCR、RPAの令和5年度からの導入を決定した。

※ AI-OCR : 紙の書類をスキャナーなどで読み込み、書かれている文字を認識してデジタル化する技術であるOCR (Optical Character Reader) にAI (人工知能) を組み合わせることで、文字の認識精度を大きく向上させたもの。

※ RPA (Robotic Process Automation) : 人間が行うキーボードやマウス等の端末操作を自動化する技術。人間がパソコン上で行う定型作業をルールに基づいて自動化でき、単純な事務業務をルールどおりに実行することができる。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：市税収納率		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	98.6%	98.6%	98.6%	
実績	98.8%	99.1%	99.2%	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告

## 令和4年度実施計画の達成状況【A】

## ▽ 預金照会システムと滞納管理システムの連動

- 当課業務のうち大量反復的に発生する預金照会システムにおける回答について、業務の効率化を図るべく、滞納管理システムに連動できるようシステムベンダーである茨城計算センターと協議を進めてきたが、実装までには至らなかった。今後も実装に向けた協議を継続していく。

## ▽ 口座振替の促進

- 市報掲載、のぼり旗によるPR、納税通知書発送時にリーフレットを同封するほか、令和3年度より実施している市内金融機関、図書館、コミセン等の施設にポスター掲示を行うことにより、口座振替促進を図った。口座振替加入者については、年々増加傾向となっており、一定の効果が得られている。

## 32 市民ニーズに迅速・的確に応えられる人材の確保・育成の推進【人事課】

### ◎ 目標達成状況

■ 指標：人材育成プランの推進		第9次大綱上の進捗率：-	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標	活力にあふれた職場環境の創出		

### ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
-------------	-------------------

#### ▽ 採用選考

- 社会人経験者も受験可能とするよう、職種に応じて年齢上限を設定している。
  - 一例として、事務30歳、技術（土木等）40歳

#### ▽ 研修（研修機会の充実） ※【】内は受講者数

- 自主研修【16名】
  - 通信教育，eラーニング等
- ベーシック研修（実務研修）【93名】
  - 財務会計事務研修，コーチング研修等
- ステップアップ研修（階層別研修）【343名】
  - 市実施階層別研修，派遣階層別研修
- パワーアップ研修（市実施特別研修・派遣特別研修）【253名】
  - 茨城県自治研修所派遣，市町村中央研修所派遣等

#### ▽ 研修（職員の意識改革）

- web会議システムやeラーニングを活用し，効率的に研修を実施した。

#### ▽ 人事評価制度（制度の目的及び必要性の理解促進）

- ステップアップ研修「新任職員研修Ⅱ」において，被評価者となる新任職員が上司からの指導・評価を自らの成長に繋げられるよう，人事評価制度への理解促進を図る研修を実施し，20名が受講した。
- ステップアップ研修「監督者研修（現任係長）Ⅰ」において，評価者が適切な評価を実施することで人材育成が効果的になされるよう，人事評価制度の理解と評価者の基礎能力を向上させる研修を実施し，17人が受講した。

#### ▽ 人事評価制度※（評価結果の活用推進）

- 評価結果の活用の幅を人材育成，昇任，給与等に広げるため，現行制度の整理，他市制度の把握を行ったが，具体的な改善策の構築には至らなかった。

※ 人事評価制度：公平性・納得性のある人事管理を目的とした制度。本制度を運用することにより，職員の業務遂行意欲を向上させ組織の活性化を図る。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：行政需要に応じた組織体制の構築		第9次大綱上の進捗率：-	
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
実績	9部55課51係	9部56課50係	10部57課50係

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
-------------	-------------------

## ▽ 機能的で弾力的な組織づくりの推進

## ● 子ども部の設置

- 国におけるこども家庭庁の発足に合わせ、子どもや子育てに関する施策を集約した子ども部を設置した。
- 子ども部には既存の子ども政策課、幼児保育課に加え、新設の子ども未来課を配置した。
- 子ども未来課には以下の事業を集約した。
  - ・ 健康推進課が担っていた母子保健事業
  - ・ 障害福祉課が担っていたみんなの未来支援室
  - ・ 家庭児童相談室

## ● 公立幼稚園に関する事務の移管

- 就学前の保育・教育施策を一体的に推進するため、公立幼稚園に関する事務を教育委員会事務局総務課から幼児保育課に移管した。

## ▽ 事務処理の効率化

## ● 業務改革支援業務委託の実施

- 基幹業務システムの標準化を見据え、既存の業務フローを見直し業務の効率化を図ることを目的に、コンサルタント会社への委託により、下記2業務についてBPR※に向けた実施計画を作成した。
  - ・ 軽自動車税賦課業務（市民税課）
  - ・ 要介護認定調査業務（介護保険課）

※ BPR(Business Process Re-engineering)：業務フローや組織の体制・システムなどを根本から見直し、再構成する取り組み。

- 上記実施計画を実行することにより、両業務合わせて年間1,000時間程度の削減が見込まれる。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：スクラップアンドビルドのサイクルの構築		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	職員の業務見直しに関する意識の醸成			
実績	サマーレビュー実施	サマーレビュー実施	サマーレビュー実施	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
-------------	-------------------

## ▽ サマーレビューの実施

- 厳しい財政状況下において、将来にわたって必要な行政サービスを提供し続けることのできる持続可能な行財政運営への転換を図るための取組みとして、令和2年度から令和4年度まで「サマーレビュー」を実施した。3年間の取組みの結果、令和3年度から令和5年度の当初予算において、合計66件、約10億8千万円の財政効果をあげることができた。
- 3年間のサマーレビューの取組みにより、職員による自発的な業務見直しに関する意識を啓発できたと考えられるが、今後どのように継続的な意識付けを行うかが課題となる。

## ◎ 目標達成状況

■ 指標：集中管理移行台数		第9次大綱上の進捗率：100%		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	-	12台	24台	
実績	-	15台	24台	

## ◎ 実績報告及び実施計画

■ 令和4年度実績報告	令和4年度実施計画の達成状況【A】
-------------	-------------------

## ▽ 公用車集中管理の推進

- 公用車の一元管理は、経費削減と公用車運用の効率化につながることから稼働率が低い車両について9台を集中管理へ移行した。また、経年劣化した車両5台を廃車し、全体的な所有台数を削減した。

## ▽ 次世代自動車の導入促進

- 地球温暖化対策等の取組みの一環として、軽電気自動車2台（日産サクラ）を購入した。



## ◎ 目標達成状況

■ 指標：		第9次大綱上の進捗率：-		
区分\年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標	-	-	庁内連携体制の構築	
実績			庁内連携体制の構築	

## ◎ 実績報告及び実施計画

## ■ 令和4年度実績報告 令和4年度実施計画の達成状況【A】

## ▽ 施設保全計画の策定について

- 建物・設備の劣化状況と緊急に対応する必要性（優先度）を一斉に調査するため、主要58施設（141棟）を対象に、建築基準法第12条第2項に基づく3年ごとの定期点検（12条点検）を兼ねた劣化状況調査を実施した。
- 引き続き、適正な施設保有量を明らかにするため、長寿命化対象施設の選定や目標使用年数の設定についての考え方を整理するとともに、先送りしてきた積み残しの修繕コストや建替え時期を踏まえた現実的な将来負担コストを算出するなど、令和5年度末までの施設保全計画の策定に取り組む。

## ▽ 庁内連携体制の仕組みづくりについて

- 総務省と地方公共団体金融機構が共同実施する「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」を活用し、東京都板橋区の職員をアドバイザーとして5回にわたり板橋区の先進的な庁内連携体制の仕組みについてレクチャーを受けた。
- 公共施設の整備、保全、管理運営及び利活用について、自治体経営の視点から組織横断的な全体最適を目指していくための仕組みとして、市長を本部長とする公共施設マネジメント推進本部（略称：FM\*推進本部）を設置した。FM推進本部では、公共施設マネジメントに関する方針及び計画の策定について審議し、これらの計画に基づく取組の推進・進捗管理を行うとともに、先進事例を参考とした様々な庁内連携体制の構築に取り組んでいく。

※ FM（ファシリティマネジメント）：ファシリティ（土地、建物、構築物、設備等）すべてを経営にとって最適な状態（コスト最小、効果最大）で保有し、賃借し、使用し、運営し、維持するための総合的な経営活動のこと。